

第2回 横浜市障害者研修保養センター指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	令和5年10月3日(火) 14時00分～16時00分
開催場所	障害者研修保養センター横浜あゆみ荘 研修室1
出席者	石渡委員長、霜鳥委員、坂田委員、鷹野委員、山根委員
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者0人)
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会議の公開について</li> <li>2 進行について</li> <li>3 評価の方法について</li> <li>4 指定管理者の自己評価説明及びヒアリング</li> <li>5 評価の決定について</li> <li>6 評価結果報告書について</li> </ol>
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各委員の評価点が確定した。</li> <li>2 委員会の意見を評価結果報告書に反映し確定することで決定した。</li> </ol>
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>会議の公開について</b> 公開を決定。</li> <li>2 <b>進行について</b> 事務局から委員会の進行について説明。(特に意見なし)</li> <li>3 <b>評価の方法について</b> 事務局から評価点の確定方法について説明。(特に意見なし)</li> <li>4 <b>指定管理者の自己評価説明及びヒアリング</b> 指定管理者より、自己評価について説明し、各委員から評価項目ごとにヒアリングを行った。 <b>【主な質疑】</b> <b>「1 指定管理料の執行状況」</b> 委 員：修繕費の予算と決算を比較すると、予算に対して決算額が少ないが理由は何か。 説明者：新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が少ない時期が続き、排水工事等定期的に行う工事の実施回数が減ったことが原因となっている。 委 員：業務委託費が増加しているが、理由は何か。 説明者：食堂業務の委託については、人件費等の固定費と売りに上げに比例する食材費等の仕入分の費用で構成されており、客足が戻ってきたことにより委託費が増えている。 <b>「2 センターの運営に関する業務」</b> 委 員：2分程度の施設紹介動画に少し物足りなさを感じた。食事面の配慮等もっとアピールすると良いのではないか。 説明者：より多くの方に動画を観てもらいやすいように、2分程度の動画を作成している。このほかに、学校関係者向けにより詳細に紹介している4分程度の動画がある。 委 員：アレルギー対応について、事前に確認できるチェックシートがあるのか。 説明者：利用者に個別にアレルギーシートを提出してもらい、それに応じて対応</li> </ol>

している。

委員：食堂を利用した際、接遇対応について少し気になることがあった。食堂関係者も横浜あゆみ荘で実施している研修に参加できると良いと思う。

説明者：研修や打合せの場で委託業者にも共有し、障害のある方に対する場面ごとの対応方法について考えていきたい。

委員：夜間業務が2人体制という点が気になった。災害時には職員だけでなく、地域と連携ができるような体制を作る必要があると思う。

説明者：地域の町内会や地区の社会福祉協議会、民生委員の集まりにも出席している。そのような場で横浜あゆみ荘のことを伝えていき、どのようなことができるか考えていきたい。

委員：年末年始の開館は検討しているか。

説明者：正月の開館については、万が一、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した際、受け入れられる医療機関がないので現状では難しい。新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、市と相談し、体制を整えたいので検討していきたい。

### 「3 センターの管理に関する業務」

委員：開所して来年40年目となり、施設に関しても修繕等を行っているが、建物はどのくらい使用できるものなのか。建替え等については、少子化や今後の社会状況の変化によっても課題が出てくるのではないかと。

説明者：公共建築物の目標耐用年数は70年以上と聞いている。今後、人口は減少していくが、障害者は増え続けると言われている。横浜あゆみ荘のような規模の施設は全国でも4か所しかなく、北海道や大阪府等の利用者もいるため、大切な施設として残していきたい。

### 「4 障害者向け事業・研修にかかる業務、自主事業にかかる業務」

委員：写真展は良い企画だと思うので今後も続けてほしい。

委員：市内障害者施設自主製品の売上について知りたい。

説明者：今年度は利用者が増えた関係で、売上が増加している。商品はすぐに売り切れてしまい、事業所に追加で依頼することもある。

委員：事業所が手を挙げれば商品を取り扱ってもらえるのか。

説明者：毎年、事業所に案内を送り、希望した所に声をかけている。売店で販売する商品は買い取っているため、事業所も安心して販売ができる。

委員：東京2020パラリンピック後、障害の有無に関わらず共に同じスポーツを楽しむということが広がってきているが、障害者スポーツだけでなく、一緒に楽しめるレクリエーションのようなものも新しく展開できると良いのではないかと。

説明者：障害のある方と地域の子供たちやボランティアが、お互いに知り合えるような企画を立てられると良いと思っている。

委員：都筑区を拠点としている「横浜ビー・コルセアーズ」と、イベント等で連携できると利用者が喜ぶのではないかと。

説明者：横浜あゆみ荘でも「横浜ビー・コルセアーズ」に協力いただき、パッケージツアーやイベント等を企画している。

	<p><b>「5 その他日常業務及びサービスの質の向上」</b></p> <p>委員：送迎バスはどこまで対応可能なのか。  説明者：この辺りでは、センター南、仲町台、新横浜、荏田、中山、瀬谷、桜木町、よこはま動物園ズーラシア、横浜・八景島シーパラダイスまで対応している。</p> <p>委員：休日・夜間の緊急連絡先に位置付けられているが、その件数を知りたい。  説明者：個別の方を対象とした緊急連絡先の位置付けではないため、実績件数は少ない。</p> <p>委員：苦情受付業務に関する第三者委員については公表されているのか。  事務局：フロント、1階廊下の掲示板にチラシを掲示し、客室の案内書にも掲載されている。市の窓口に関するチラシも同様の場所に掲示している。</p> <p>委員：具体的な相談があったことはあるのか。  説明者：第三者委員にはない。</p> <p>委員：利用者アンケートはどのように回収しているのか。  説明者：チェックインの際にアンケートを渡し、帰りに客室に置いてもらうか、フロントに持ち込んでもらうなどし、協力をお願いしている。</p> <p>委員：回収率は高いのか。  説明者：割合は高くないと思うが、先月は50～60件程度。</p> <p><b>5 評価の決定について</b>  ヒアリングを終え各委員事前の評価点を修正し、事務局が取りまとめた。</p> <p><b>6 評価結果報告書について</b>  事務局により、委員会の中で出た意見などを反映させて、評価結果報告書を確定することで決定した。</p>
<p>資料  ・  特記事項</p>	<p><b>1 配布資料</b></p> <p>(1) 事務局説明補足資料  (2) 評価表  (3) 評価にあたっての考え方と進め方  (4) 確定評価一覧  (5) 評価結果報告書（案）</p> <p><b>2 特記事項</b>  特になし</p>